

稲沢地域のまちづくり構想（市民案）

①まちの魅力・問題点及び取組アイデア

■：市主体 ■：地域・住民主体

	まちの魅力	まちの問題点	取組アイデア
道路		■道路問題 ・一方通行が多い ・踏切付近が混む ・主要道路の渋滞 ・道路がせまく生活しにくい ・道路がせまい ・道路の水はけが悪い場所がある ・道路整備の計画ができていない ・都市計画税を払っている地域の都市計画が進んでいない	■鉄道高架化 ・鉄道高架化 ■タクシートの充実 ・タクシー小型車の導入 ・競争原理を働かせ、他タクシー会社を入れる ・白タクの導入(個人の参入)
公共交通	■国府宮駅がある。名古屋へ近い ・国府宮駅は特急も止まって便利 ・国府宮駅へいくのが便利 ・名古屋から近い ・名古屋から近いし岐阜へも近い ・国府宮駅に近い	■バスが不便 ・コミュニティバスの便数が少なく市内各所へ行くのが不便 ・市内バス経路の整備をする ・駅までの公共交通の手段がない	
安全・安心	■災害が少ない ・地震がない(災害が少ない) ・伊勢湾台風で水につかっていない！	■空家が多い ・空き家が目につく ・古い家がなくなってきている！ ■液状化の危険性 ・液状化が心配 ■公共施設の老朽化 ・市の建物が古い	
自然・公園	■緑が多い、静か ・緑が多く自然が豊か ・緑が多い ・静かで良い！ ・住みやすい ・稲沢公園という大公園がある ・土地が肥えている(農業がしやすい)	■緑の管理が悪い ・街路樹の保守が悪い ・地区により公園が全くない(北町周辺) ・稲沢公園は木々を植えつばなしで手入れ、管理がなされていない ・稲沢公園はウドの大木で見た目もきれいにする必要がある ・公園の中が見えない ・公園をそのままにしておくと数年後は管理費がかかりすぎてダメになる ・緑がきれいに手入れされていない ・公園が安心して利用できない ■三宅川 ・河川がきたない(特に水)	■公園の活性化 ・緑が多いが、その管理がうまくいっておらず雑然としている ・稲沢公園を新生する。間伐で活性化する。若い人が来る魅力を ・都市緑化の将来管理方針についての検討委員会を設置する ・岐阜大学名誉教授の林先生(樹木医)を招いて稲沢公園樹木の将来を考える会をつくる ・緑の活用も総花ではだめ。目玉のグリーンプランをつくる ・緑が多い、自然豊かをうまくPR で活用する ■三宅川を歩く ・市の小学生に三宅川をきれいにする実験、活動をさせる(愛着がわく) ・三宅川の遊歩道を造る(例えば、まず西町→稲沢公園まで) ・地下水を汲みあげて三宅川をきれいにする ・三宅川に桜の木を植える
景観・観光	■歴史 ・歴史のある社寺が多い ・歴史的な資源を見てまわれる	■PR 不足 ・美濃路が知られていない ・市のPR が上手くない ・稲沢市という知名度が非常に低い！ ・地域の行事が知られていない(神社など)	■美濃路を歩く ・気軽にウォーキングできるコースがほしい ・美濃路の空いている商店をコミュニティスペースにする(地域の人同士の交流) ■まち歩きツアー ・社寺・美濃路等の歴史ツアーの具現化 ・寺、神社ツアー(歴史好きへのアピール)
暮らしやすさ	■お店が多い ・お店が多い ・大型スーパーが近い ・昔ながらの商店街がある ・スーパーが多く、買物が便利 ■コミュニティがある ・近隣の住民が優しい(すぐに話し合いに応じてくれる)	■商店街がない ・レジャー施設が少ない ・新しいお店が定着しない ・商売が成り立ちにくい地域…コンビニがすぐつぶれる ・国府宮周辺の再開発は全くできていない ・目玉となる商店がない ■若い世代が少ない→市街化調整区域が多い ・住みやすい公園の周辺が市街化調整区域で家を建てられない ・世代間の交流が少ない ・10年後をみれば市街化区域を思い切って増やすべき ・少子高齢化で若い世代が少ない	・各地域で行われているまちづくりとの融合(魅力の点について)
その他		・地域ごとの行政サービスの格差がある ・税金が高い ・保守的である ・土地が高い	・駅周辺のお店の賃料を下げる

②まちの将来像

まちの将来像		
歩いて歴史と自然を感じられる やすらぎのあるまち		
■歴史・美濃路 ・歴史を感じる建物 ・美濃路街道再発見 ・チョッピリ美濃路	・美濃路まち歩き 自然と旧街道のサークル ・“やすらぎの町稲沢” 自然歴史を堪能して明日への活力を生み出す ・歴史と緑の町稲沢	■自然・川・緑 ・川と緑の散歩道

